



ロータリーは
分かちあいの心



2007-2008 年度
国際ロータリー会長
ウィルフリッド J. ウィルキンソン

第 2690 地区ガバナー
森下 和郎

平田ロータリークラブ事務局
〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
Tel: 0853-63-3232 / Fax: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp
AM.900 ~ PM500 土・日曜・祝祭日休局

会長 / 田中 久雄 副会長 / 原 孝士
幹事 / 飯塚 大幸 会計 / 黒田 昌弘

例会プログラム

例会	卓話者	演題
4月17日	古代出雲歴史博物館 浅沼 政誌 様	「よみがえる幻の染色」
4月24日	地区協議会出席者	地区協議会報告
5月1日	地区協議会出席者	地区協議会報告

出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回 補正率
44	34	10(2)	80.95%	85.37%

欠席者

吾郷 / 高砂 / 西谷 / 園山 / 三代 / 黒田 / 堀江 / 原光
(石原恵 / 森山)

MU

4/14 内田 / 田中浩 / 大谷 / 高砂 (出雲中央)
4/16 恒松 (大社)

次回例会受付当番

(5月1日) 原 光栄 / 恒松克己 / 内田節夫

近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

赤文字 例会変更

月	松江南クラブ	水	大社クラブ 4/30(休) 5/7
月	出雲中央クラブ	木	松江東クラブ
火	松江しんじ湖	金	出雲南クラブ
火	出雲クラブ 4/29(休) 5/6(休)		
水	松江クラブ 4/30		(第1・3水) 平田 RAC

会長挨拶

- 近づく親睦合唱祭について -

参加チーム 25、第 14 回全国ロータリークラブ親睦合唱祭が松江で行なわれる。家族も含め 570 名の参加である。過去最高の参加人数で、ホストクラブである松江東ロータリークラブから嬉しい悲鳴と便りがあった。そして、平田ロータリークラブの出演を「心からお待ちしております」との事であった。

平田ロータリークラブ合唱団は毎週月曜日の夜、セントラルハウスでの練習に余念がない。6月7日(土)の合唱祭当日は、平田ロータリークラブ挙げて声援を送りたい。プラハホールでの出演予定時刻は午後2時頃。夕方よりホテル一畑において懇親会が開催され、会閉会は9時30分と聞いている。慰労と激励を兼ね多数の声援を願いたい。

後日参加を取りまとめた。

幹事報告

1. 例会変更

大社 RC 5/7(水) 清掃奉仕例会 6:30~ 会場 出雲大社
ビジター受付 11:30~12:30 事務局

2. ロータリー青少年指導者育成プログラム (RYLA)のご案内

日時 5/25(日) 10時~16時30分
場所 ウェルサンピア岡山
参加対象者 各クラブ推薦の14歳以上30歳未満の青少年
(男女問わず) 推薦をお願い致します。

3. 島根県高等学校野球連盟理事長 錦織正実様より「野球の醍醐味 総集編」を頂きました。

4. 出雲南 RC 社会奉仕事業 (市民講座)のご案内

日時 5月11日(日) 午後2時~4時
場所 ビッグハート 白のホール
講師 島根大学 医学部
歯科口腔外科学講座 教授 関根 浄治 先生
演題 「長生きのためのお口の衛生」

当クラブも後援団体となり、また入場料は無料となっておりますのでお出かけください。

スマイル

- 大島卓 春の交通安全運動の違反者は前年を上回りましたが、死者は3年ぶりにゼロでした。お互いに気を引き締め運転しましょう
- 常松 本日のスピーカー浅沼様、ようこそおいで頂きありがとうございます。お話、楽しみにしております。
- 飯塚大 新入会員セミナーを欠席し、ご迷惑をおかけ致しました。神仏霊場合同祭事は無事に終わりありがとうございました。
- 松浦 佐藤さん、ありがとうございました。
- 大島治 佐藤さん今後もよろしく願います。

スピーチ

「よみがえる幻の染色」

古代出雲歴史博物館

浅沼 政誌 様



布を染める技術である「板締め」染めは、2枚の版木の間を挟んで染色する方法で、奈良の正倉院に残されています。奈良時代に流行したこの方法も平安時代になると衰退し、鎌倉時代・室町時代のもはそれぞれ1点ずつしか確認されていません。

昭和50年頃、出雲市の民家から2557枚にも及ぶ版木が発見され、江戸時代に使われたものと確認されました。染色された布は20枚ほどしか発見されておらずその用途ははっきりしませんが、藍色をしていることから、「出雲藍板締め」と呼ばれており、何枚にも重ねた版木の間それぞれに布を挟み込むように染色をおこなっていたようです。

博物館では、この謎の多い染色技術復元に挑戦した取り組みも紹介し展示しております。